

2015 年 11 月 15 日

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2015 年度（自 2014 年 10 月 1 日 至 2015 年 9 月 30 日）第 2 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2015 年 9 月 8 日（火） 15：00～18：00

☐開催場所 ステーションコンファレンス東京 605-BC

☐理事総数 20 名

☐監事総数 3 名

☐出席理事数 18 名

☐出席監事数 1 名

☐出席理事の氏名

北野正剛（理事長）、岩崎昭憲、岩中 督、大貫恭正、小澤壯治、黒川良望、坂井義治、
塩田 充、出沢 明、寺地敏郎、徳村弘実、橋爪 誠、松田公志、森 俊幸、森川利昭、
山下裕一、若林 剛、渡邊聡明

☐出席監事の氏名

松本純夫

☐議長の氏名

北野正剛

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、北野正剛理事長より、理事会の定款所定数を満たしたので有効に成立した旨が宣
され、議事が開始された。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 報告事項

1) 編集委員会報告

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌（北野正剛編集主幹）

・投稿状況が報告された。

・投稿規程に「総説」の件の記載を追記することが報告された。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery

- ・活動報告、月ごとの投稿状況が報告された。
- ・ガイドラインの掲載が開始されたことが報告された。
- ・査読に応じない会員への改善策について話し合わせ、今後は社員の資格要件とすることとし規約の検討を行うとともに査読を受諾する責務について注意喚起を社員総会にて行うこととした。
- ・Co Editor in Chief に北島政樹先生、北野正剛先生、Editor に北川雄光先生、Associate Editor に渡邊昌彦先生が就任することが報告された。

2) 総務委員会報告（若林剛委員長）

- ・庶務報告 会員数 12,439 名（2015 年 8 月 31 日現在）
- ・新規入会者数が増えていることが報告された。
- ・未納者 2,071 名（9 月末までの納入）へ督促連絡を送付済の点が報告された。

3) 教育委員会報告（黒川良望委員長）

- ・第 20 回教育セミナーについて、テーマおよび演者が決定した点が報告された。
- ・Web 版用語集が現在作成中であり、間もなく完成される点が報告された。

4) 学術委員会報告（山下裕一委員長）

- ・2013 年度申請の NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題「腹腔鏡下胃切除術の安全性に関する検討 NCD による前向き調査研究」が進行中であることが報告された。協力施設に 2015 年 7 月 31 日までの症例登録を依頼している状況が報告された。
- ・2014 年度 NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題「日本内視鏡外科学会技術認定制度における技術認定レベルのアウトカム評価」について、他学会と重複する点がなく NCD 側へ解析ポイントの確認中である点が報告された。
- ・2015 年度 NCD データを利用した高齢者に対する研究課題「高齢者に対する腹腔鏡下手術の意義」について日本消化器外科学会データベース委員会にて研究概要の審議中である点が報告された。

5) 保険委員会報告（森俊幸委員長）

- ・5 月 11 日に保険委員会が開催された点が報告された。
- ・洗浄シースについて厚生労働省とのヒアリング結果が報告された。
- ・ロボット支援手術の術式を外保連試案に載せていく件について、現在の状況について報告がなされた。

6) 規約委員会報告（徳村弘実委員長）

- ・前回の承認事項の確認がなされた。
- ・特別会員、名誉会員、監事は委員会の委員にはなれない。
- ・特別会員、名誉会員は監事にはなれない。
- ・特別委員・統計解析アドバイザー等複数の呼称に関し、次回までに定義を徹底する点が報告された。

7) 広報委員会報告（出沢明委員長）

- ・ニュースレターの寄稿について順調である点が報告された。
- ・第28回総会時12月12日（土）閉会の前にプレスセミナーを開催し、企画内容が報告された。

8) ガイドライン委員会報告（渡邊聡明委員長）

- ・ASESにてガイドラインが掲載を開始した点が報告された。
- ・岩中督委員、田中雅夫委員および田中正利委員が退任し、新たに世川修委員、中村雅史委員および羽瀧友則委員が就任した点が報告された。

9) 第三者評価委員会（岩中督委員長）

- ・医療事故調査制度における医療事故調査等支援団体申出に対し、5月28日付けで回答がなされた点が報告された。

10) 倫理・渉外委員会報告（堤治委員長 代理北野正剛理事長）

- ・報告事項なし

11) 技術認定制度委員会報告（松田公志委員長）

- ・泌尿器科領域および産科婦人科領域、整形外科領域の技術認定新規・更新・延期申請が承認された。
- ・一般社団法人日本カプセル内視鏡学会からの日本内視鏡外科学会技術認定制度における業績ポイント取扱いの依頼を受けそれに対する回答がなされた点が報告された。
- ・呼吸器外科学会理事会で、胸腔鏡技術認定制度検討部会が発足され部会長に岩崎昭憲理事の就任が承認された点が報告された。
- ・岩崎昭憲理事より、呼吸器外科の技術認定制度において、他領域へのアンケートを元に前向きに検討しているといった点が報告された。

12) COI 委員会報告（森川利昭委員長）

- ・臨床研究のCOIに関する指針運用規則が変更となった点が報告された。
- ・2015年3月にガイドラインが変更になり医学会の基準に合わせることが報告された。
- ・施行日について、2016年1月1日より改正後の基準を適用することが報告された。

13) 医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・花井恒一委員が新たに委員に就任した点が報告された。
- ・2015年11月に日本コンピューター外科学会との合同シンポジウムが開催される点が報告された。
- ・コンピューター外科学会との合同シンポジウム企画については、今後も継続して行い、本委員会が担当することが確認された。
- ・ものづくりコモンズとの継続的な協力についての報告と今後の協力のお願いがなされた。
- ・コンピューター外科学会における内視鏡外科領域の発表が増えてきている点が報告された。

14) メディカル・チーム検討委員会報告（岩崎昭憲委員長）

- ・委員構成に新任委員が就任されている点が報告され、承認された。
- ・メディカルスタッフマニュアルの改定版が新委員で今後検討を始めていく点が報告された。

15) Eラーニング検討委員会報告（大貫恭正委員長）

- ・現状として、大腸のビデオクリップがホームページに掲載されている点が確認された。
- ・技術認定の申請をして不合格となった場合に、再度申請する条件としてEラーニングの受講を条件化してはどうかという意見がなされた。

16) 将来構想委員会報告（寺地敏郎委員長）

- ・小嶋一幸委員、白石憲男委員、長谷川洋委員、星合晃委員、松田公志委員、種田憲一郎委員、長谷川敏彦委員、尾藤誠司委員の退任、鈴木真一委員、武中篤委員、中村廣繁委員、西井修委員の新就任について報告された。
- ・監事は監督する立場であるため一部は外部から選出することも検討する必要があるとの意見がなされた。

17) 専門医制度検討委員会報告（渡邊昌彦委員長 代理北野正剛理事長）

- ・岩中理事より、日本専門医機構の現状の報告として18基本領域の各研修プログラムが確定し今後機構で審査をしていく点、各領域の学会から機構のプログラム審査委員として派遣され審査していく点が報告された。基幹施設と連携施設の連携をスムーズにし、医療の地域偏在をなくしていく点が課題であると報告された。
- ・基本領域の制度整備を行っており、技術認定制度に関する議論などにはまだまだ至っていないことが報告された。

18) ロボット支援手術検討委員会報告（橋爪誠担当理事）

- ・保険適用に向けて詳細を検討中である点が報告された。

19) 第28回総会準備状況報告（松田公志会長）

- ・理事会開催は、2015年12月9日（水）夕刻 大阪国際会議場で開催される点が報告された。
- ・社員総会は2015年12月10日（木）夕刻 同会場にて開催される点が報告された。
- ・プログラムの一つとして、エキスパートビデオシリーズを設け、17名の先生に依頼が決定しビデオを供覧しながら進行する独自のプログラムを企画していることが報告された。
- ・ランチョンセミナーを、教育的プログラムであることを明確にするために名称を「エデュケーショナルレクチャー」とする点が報告された。
- ・医工連携のブースでは、従来企業にブース貸出を無料で行っていたが、今年は2日目にプログラムの聴講が出来るようにすることで、有料制とした点が報告された。
- ・プログラム集について、電子化することが検討事項としてあがった。

20) 第29回総会準備報告（渡邊昌彦次期会長 代理：隈元先生）

- ・テーマが「自我作古」に決定になった点が報告された。
- ・プログラムのアンケートについては現在依頼中である点が報告された。

21) 第 30 回総会準備報告（坂井義治次々期会長）

- ・2017 年 12 月 7 日（木）～9 日（土）、国立京都国際会館にて開催される点が報告された。
- ・理事会は 12 月 6 日（水）に決定した点が報告された。
- ・プログラム集を電子媒体にする点が報告され、他学会（日本消化器外科学会・日本癌治療学会など）を例に本学会でも検討事項としてあがった。事務局側で電子化しても雑誌として認められるのかについて確認することとした。

22) 日本医学会等報告（北野正剛理事長）

- ・日本内視鏡外科学会として日本医学会へ分担金を支払いした点が報告された。
- ・2020 年に東京オリンピックの年に世界内視鏡外科学会（WCES）を招致する点について進捗と他国のボードメンバーから賛同を得ている点が報告された。
- ・2016 年の 11 月に上海のワールド कांग्रेस で、BIT を提出していく点が報告された。
- ・オリンパスから日本内視鏡外科学会へ国際協力の申し出があった点が報告された。経済産業省・JICA の取り組みとして、日本内視鏡外科学会にとして協力等支援していく方針が報告された。第 28 回総会時に、ロシア・メコンより招聘した医師と交流企画の予定がある点が報告された。
- ・カールストルツ賞に関する覚書の改定があった点が報告された。

3. 審議事項

1) 総務委員会（若林剛委員長）

- ・名誉理事長として北野正剛理事長、名誉会長として星合晃先生・森川康英先生、名誉会員として大貫恭正先生・堤治先生・山下裕一先生、特別会員として清水輝久先生・田中雅夫先生・内藤誠二先生について承認された。

2) 国際委員会（坂井義治委員長）

- ・小林道也委員が新たに就任された点が報告された。
- ・国際名誉会員について Jeffrey L. Ponsky 先生、Han-Kwang Yang 先生、Vitoon Chinswangwatanakul 先生が承認された。
- ・FUSE について今後重要視していくべき点が指摘され、安全対策のためにも FUSE と同様の教育プログラムを検討していく必要があるといった意見が出された。
- ・第 28 回総会の附置研究会にて FUSE を行う予定がある点が報告された。
- ・IFSES の会長の任期を 2 年にするという懸案事項があがったが 6 年で既決された点が報告された。

3) 評議員選考委員会（塩田充委員長）

- ・評議員選考において 91 名の申請者に対し 4 名不選考となり別紙の 87 名の新評議員が承認された。
- ・評議員申請書について、提出論文に ASSES と JSES の論文を「必ず」1 編以上含めることとするとの変更点が提案された。「筆頭・共著を含め査読のある雑誌を基準とする」点についての基準が曖昧なため、「ピュアレビュー」があるという証明を雑誌社に提出依頼をすることが望ましいと提案があった。この点を受け次回の理事会までに再考し、次回の理事会で承認され

れば改定される点が確認された。

- ・評議員への申請条件として学会参加を必須とし参加証明書を提出する点が承認され、詳細は委員会にて検討することとした
- ・評議員申請書内の推薦者の条件について、「但し推薦者が全員同じ部門に所属する場合は不可とします。」を削除し、「同一施設・同一診療科からは2名までとする」という1文が追記される点が承認された。
- ・推薦者に、特別会員・名誉会員を含める点について、委員会で規則を検討することとした。

4) 大上賞選考委員会（渡邊昌彦委員長 代理北野正剛理事長）

- ・第8回受賞者として、笠間和典氏（四谷メディカルキューブ）の受賞が承認された。

5) 出月賞選考委員会（森俊幸委員長）

- ・第18回受賞者として、小野田貴信氏（斗南病院外科）の受賞が承認された。

6) 財務委員会（小澤壯治委員長）

- ・第27回総会の収支報告がなされ承認された。
- ・第26回総会の余剰金の福岡大学への追加寄付金についての最終報告がなされ承認された。
- ・2016年度の予算案について報告があり承認された。

7) その他

- ・松本純夫監事より、2008～2010年に結腸癌のラパロ・オープン手術の患者満足度調査を行った際、学会から寄付を受けていた点が報告され、結果を論文化しASESに投稿する予定であることが報告された。
- ・今後の委員交代については、理事長の承認を事前にとる必要があることが確認された。

以上

(別紙)

青木 久恵 (公益社団法人東京都教職員互助会三楽病院)	佐久間康成 (自治医科大学附属病院消化器外科)
浅海 信也 (福山市民病院)	篠原 寿彦 (町田市民病院)
阿部 展次 (杏林大学医学部外科)	清水 喜徳 (埼玉石心会病院外科)
荒金 太 (熊本赤十字病院)	進士 誠一 (日本医科大学消化器外科)
安齋 実 (大崎市民病院外科)	進藤 吉明 (社会医療法人明和会中通総合病院)
安藤 正明 (一般財団法人倉敷成人病センター)	鈴木 崇久 (県立広島病院)
市川 大輔 (京都府立医科大学外科学教室消化器外科学部門)	砂原 正男 (市立函館病院消化器外科)
伊東 昌広 (藤田保健衛生大学総合・脾臓外科)	角 泰雄 (神戸大学大学院外科学講座食道胃腸外科)
伊藤 嘉智 (埼玉県済生会栗橋病院外科)	関 洋介 (医療法人社団あんしん会四谷メディカルキューブ減量・糖尿病外科センター)
猪瀬 悟史 (柏厚生総合病院)	武中 篤 (鳥取大学医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野)
植木 隆 (九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科)	田代 浄 (埼玉医科大学国際医療センター)
植田 剛 (奈良県立医科大学消化器・総合外科)	田中 公貴 (北海道大学大学院医学研究科消化器外科分野Ⅱ)
植野 望 (宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院)	田邊 稔 (東京医科歯科大学医歯学総合研究科肝胆脾外科学講座／東京医科歯科大学医学部付属病院肝胆脾外科)
宇高 徹総 (三豊総合病院)	土屋 雄彦 (東邦大学医療センター大森病院)
内間 恭武 (社会医療法人生長会府中病院)	坪地 宏嘉 (自治医科大学附属さいたま医療センター呼吸器外科)
浦本 秀隆 (埼玉県立がんセンター)	鶴田 淳 (川崎医科大学消化器外科学)
大内田研宙 (九州大学病院臨床・腫瘍外科)	黨 和夫 (佐世保市立総合病院)
大村 泰之 (地方独立行政法人岡山市立総合医療センター岡山市立市民病院)	当間 宏樹 (医療法人原三信病院)
岡本 佳樹 (さぬき市民病院外科)	徳原 克治 (関西医科大学附属滝井病院外科)
小熊 潤也 (東海大学医学部消化器外科)	徳原 孝哉 (鳳胃腸病院)
柏木 宏之 (湘南鎌倉総合病院)	徳毛 誠樹 (独立行政法人国立病院機構岡山医療センター)
金沢 景繁 (大阪市立総合医療センター肝胆脾外科)	中川 基人 (平塚市民病院外科)
金山 博臣 (徳島大学大学院医歯薬学研究部泌尿器科学分野)	中野 敢友 (福山市民病院)
川嶋 寛 (埼玉県立小児医療センター小児外科)	中村 博亮 (大阪市立大学大学院医学研究科整形外科)
川村純一郎 (近畿大学医学部外科)	西尾 渉 (兵庫県立がんセンター呼吸器外科)
木戸川秀生 (北九州市立八幡病院)	西舘 敏彦 (札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科)
木村 真樹 (岐阜大学医学部附属病院)	萩原 信敏 (日本医科大学附属病院消化器外科)
栗生 宜明 (京都府立医科大学消化器外科)	畑 泰司 (大阪大学大学院消化器外科学)
黒部 仁 (東京慈恵会医科大学外科学講座)	馬場 研二 (鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科)
古賀 寛之 (順天堂大学医学部小児外科)	馬場 誠朗 (岩手医科大学医学部外科学講座)
小島 豊 (順天堂大学下部消化管外科)	林 洋光 (済生会熊本病院外科)
五代 天偉 (藤沢湘南台病院)	樋田 泰浩 (北海道大学病院循環器・呼吸器外科)
五藤 周 (筑波大学医学医療系小児外科)	平田 知己 (日本医科大学多摩永山病院)
小林慎二郎 (聖マリアンナ医科大学病院)	藤田 武郎 (国立がん研究センター東病院食道外科)
小松俊一郎 (愛知医科大学消化器外科)	星野 明弘 (東京医科歯科大学消化器・一般外科消化管外科学分野)
境 雄大 (つがる西北五広域連合つがる病院一般・内視鏡・心血管・呼吸器・乳腺外科)	細田 桂 (北里大学医学部外科学)
坂本 快郎 (熊本大学医学部附属病院消化器外科)	堀 智英 (名古屋大学医学部附属病院移植外科)
	堀口 明彦 (藤田保健衛生大学総合外科・脾臓外科)

前田 敦行（大垣市民病院外科）	矢田 一宏（大分大学医学部消化器・小児外科）
前田 好章（国立病院機構北海道がんセンター消化器外科）	矢部 信成（医療法人財団荻窪病院外科）
松下 晃（日本医科大学消化器外科）	山本 直人（横浜市立大学附属病院）
松本 英男（川崎医科大学消化器外科）	米倉 竹夫（近畿大学医学部奈良病院小児外科）
六車 一哉（大阪市立大学大学院腫瘍外科）	若原 智之（淀川キリスト教病院）
森山 秀樹（金沢大学附属病院心肺・総合外科）	渡邊 純（横須賀共済病院）

2015 年度技術認定（泌尿器腹腔鏡）合格者

相原 衣江（宝塚市立病院）	鈴木 晶貴（岡崎市民病院）
蘆田 真吾（高知大学医学部泌尿器科）	鈴木 光一（前橋赤十字病院泌尿器科）
新 良治（高知医療センター）	鈴木都史郎（信州大学医学部附属病院泌尿器科）
石崎 淳司（旭川厚生病院）	鈴木 尚徳（JA 長野厚生連篠ノ井総合病院泌尿器科）
市原 浩司（札幌医科大学泌尿器科）	高木 敏男（東京女子医科大学泌尿器科）
伊野部拓治（高知高須病院）	瀧澤 逸大（新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野）
岩田 達也（北見赤十字病院）	竹島 徹平（JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院泌尿器科）
岩田 裕之（市立伊丹病院泌尿器科）	土橋 一成（西神戸医療センター）
有働 和馬（佐賀大学医学部泌尿器科）	恒吉 研吾（独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター）
占部 裕巳（済生会熊本病院泌尿器科）	鶴崎 俊文（日本赤十字社長崎原爆病院）
榎田 英樹（鹿児島大学歯学総合研究科腫瘍学講座泌尿器科学分野）	中川 勝宏（兵庫県立西宮病院）
尾形 吉彦（日本医科大学多摩永山病院）	新美 文彩（東京大学医学部泌尿器外科教室）
加藤 秀一（滝川市立病院泌尿器科）	野原 隆弘（金沢大学附属病院泌尿器科）
加藤陽一郎（岩手医科大学附属病院）	計屋 知彰（長崎大学泌尿器科）
金尾 健人（愛知医科大学泌尿器科）	橋本 良博（豊田厚生病院）
河内啓一郎（香川労災病院）	畠山 真吾（弘前大学医学部泌尿器科）
神原 太樹（高知医療センター泌尿器科）	濱川 隆（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）
北見 一夫（藤沢市民病院）	林田 靖（独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター）
木村 貴明（自治医科大学腎泌尿器外科学講座腎臓外科学部門）	藤井 智浩（川崎医科大学附属病院）
熊谷 伸（公益財団法人星総合病院）	古谷 洋介（公立富岡総合病院）
倉橋 寛明（ツカザキ病院）	前野 淳（秋田大学医学部附属病院）
黒澤 和宏（虎の門病院）	町田 裕一（八尾市立病院泌尿器科）
小林 恭（京都大学大学院医学研究科泌尿器科学）	水間 浩平（指宿医療センター）
小林 秀行（東邦大学医療センター大森病院）	三井 貴彦（山梨大学大学院泌尿器科学）
小堀 善友（獨協医科大学越谷病院泌尿器科）	皆川 倫範（信州大学医学部泌尿器科学教室）
坂口 大（鹿児島市立病院泌尿器科）	宮川 友明（自治医科大学附属さいたま医療センター）
佐々木克己（岡山大学病院）	宮田 康好（長崎大学病院泌尿器科・腎移植外科）
佐塚 智和（千葉大学医学部附属病院泌尿器科）	村岡 邦康（鳥取大学医学部腎泌尿器学教室）
志賀健一郎（原三信病院）	森 健一（大分大学医学部腎泌尿器外科講座）
柴田 康博（群馬大学医学部附属病院）	矢西 正明（関西医科大学校方病院腎泌尿器外科）
清水 史孝（順天堂大学医学部附属練馬病院泌尿器科）	山道 深（兵庫県立尼崎病院）
進藤 哲哉（札幌医科大学医学部泌尿器科学講座）	山本 哲平（長野市民病院）
新保 正貴（聖路加国際病院泌尿器科）	吉田 毅（福岡和白病院）
菅谷 真吾（町田市民病院）	米森 雅也（鹿児島大学病院泌尿器科）
杉田 省三（寿楽会大野記念病院）	

2015 年度技術認定（泌尿器腹腔鏡）更新者

石井 啓一（大阪市立総合医療センター）	絹川 常郎（独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院泌尿器科）
石川 晃（日本赤十字社医療センター）	木村 高弘（東京慈恵会医科大学泌尿器科）
磯山 忠広（鳥取県立中央病院泌尿器科）	國島 康晴（独立行政法人国立病院機構北海道医療センター）
市川 智彦（千葉大学大学院医学研究院泌尿器科）	五反田丈徳（鹿児島市立病院）
伊藤 明宏（東北大学医学部泌尿器科）	後藤 百万（名古屋大学医学部附属病院）
伊藤 直樹（NTT 東日本札幌病院）	小林 正雄（東大阪市立総合病院）
伊藤 哲之（西神戸医療センター泌尿器科）	齋藤 英郎（東北大学病院泌尿器科）
伊藤 秀明（福井大学医学部）	坂本 亘（大阪市立総合医療センター）
伊藤 将彰（倉敷中央病院泌尿器科）	座光寺秀典（山梨大学医学部附属病院）
稲元 輝生（大阪医科大学腎泌尿器外科）	佐藤 克彦（日本大学医学部附属板橋病院）
井上 省吾（広島大学病院泌尿器科）	繁田 正信（呉医療センター・中国がんセンター）
今川 全晴（大分赤十字病院泌尿器科）	鈴木 規之（総合病院国保旭中央病院泌尿器科）
今津 哲央（市立豊中病院）	鈴木 啓悦（東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科）
入江 啓（北里研究所病院泌尿器科）	鈴木 万里（国立研究開発法人国際生育医療研究センター臓器・運動器病態外科部泌尿器科）
岩村 正嗣（北里大学医学部泌尿器科）	鈴木 康友（日本医科大学千葉北総病院）
氏家 剛（大阪大学病院泌尿器科）	関 利盛（市立札幌病院泌尿器科）
牛山 知己（浜松東病院）	仙崎 智一（徳島赤十字病院）
白井 幸男（静岡市立清水病院）	邵 仁哲（明治国際医療大学泌尿器科）
内田 久志（太田西ノ内病院泌尿器科）	高田 剛（箕面市立病院泌尿器科）
江川 雅之（市立砺波総合病院）	高橋 敦（函館五稜郭病院泌尿器科）
江藤 正俊（熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器科学分野）	高橋 義人（岐阜県総合医療センター）
大東 貴志（国際医療福祉大学三田病院泌尿器科）	武田 利和（慶應義塾大学医学部）
大山 力（弘前大学泌尿器科）	田崎 義久（別府医療センター）
小笠原 賢（青森県立中央病院）	田中 一志（神戸大学医学部附属病院）
萩島 達也（千葉徳洲会病院）	田中 正利（福岡大学医学部泌尿器科）
長船 崇（宇治徳洲会病院）	田邊 一成（東京女子医科大学泌尿器科）
加藤 喜健（横浜保土ヶ谷中央病院）	玉田 聡（大阪市立大学医学研究科泌尿器病態学）
金丸 洋史（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院）	田丸 俊三（薬院ひ尿器科病院）
金山 博臣（徳島大学大学院医歯薬学研究部泌尿器科学）	田村 雅人（高知赤十字病院泌尿器科）
金子 公亮（新潟県済生会三条病院）	土谷 順彦（秋田大学医学部泌尿器科）
亀岡 浩（星総合病院泌尿器科）	堤 雅一（日立総合病院）
賀本 敏行（宮崎大学医学部附属病院泌尿器科）	寺井 章人（倉敷中央病院泌尿器科）
河内 明宏（滋賀医科大学）	寺地 敏郎（東海大学医学部外科学系泌尿器科）
川喜田睦司（神戸市立医療センター中央市民病院）	永井 敦（川崎医科大学泌尿器科）
川嶋 秀紀（白浜はまゆう病院）	長尾 慶治（順天堂大学医学部附属浦安病院）
川端 岳（関西労災病院泌尿器科）	中川 健（東京歯科大学市川総合病院泌尿器科）
菅 政治（愛媛県立中央病院泌尿器科）	中嶋 孝夫（石川県立中央病院）
菊地 栄次（慶應義塾大学医学部泌尿器科教室）	

中野 雄造 (兵庫県立尼崎病院)	松原 重治 (姫路赤十字病院泌尿器科)
中村小源太 (愛知医科大学医学部泌尿器科学講座)	松本 和将 (北里大学医学部泌尿器科学)
中山 雅志 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター)	水谷 陽一 (藍野大学臨床工学科泌尿器科)
奈須 伸吉 (独立行政法人国立病院機構大分医療センター)	三田 耕司 (広島市立安佐市民病院泌尿器科)
並木 一典 (東京医科大学病院泌尿器科)	三股 浩光 (大分大学医学部附属病院腎臓外科・泌尿器科)
納谷 幸男 (帝京大学ちば総合医療センター泌尿器科)	宮内 勇貴 (愛媛大学医学部泌尿器科)
成田伸太郎 (秋田大学附属病院泌尿器科)	三宅 修 (市立豊中病院泌尿器科)
西村 一男 (大阪赤十字病院泌尿器科)	宮崎 兼考 (横浜労災病院泌尿器科)
西村 和郎 (大阪府立成人病センター泌尿器科)	宮嶋 哲 (慶應義塾大学医学部泌尿器科)
西山 勉 (新潟大学地域医療センター魚沼基幹病院)	三輪 吉司 (中村病院泌尿器科)
任 幹夫 (大阪労災病院)	村蒔 基次 (神戸大学病院泌尿器科)
羽賀 宣博 (福島県立医科大学泌尿器科学講座)	森山 浩之 (JA 尾道総合病院泌尿器科)
橋根 勝義 (独立行政法人国立病院機構四国がんセンター)	諸井 誠司 (浜松労災病院)
橋本 邦宏 (広島鉄道病院)	八木澤 隆 (自治医科大学腎泌尿器外科学講座腎臓外科学部門)
服部 一紀 (聖路加国際病院泌尿器科)	安本 博晃 (島根大学医学部泌尿器科学)
服部 良平 (名古屋第一赤十字病院)	矢内原 仁 (埼玉医科大学泌尿器科)
羽瀧 友則 (秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿 器科学(医学部附属病院泌尿器科))	山口 誓司 (大阪府立急性期・総合医療センター泌尿器科)
原 勲 (和歌山県立医科大学泌尿器科)	山崎 健史 (大阪市立大学付属病院泌尿器科)
久末 伸一 (順天堂大学医学部大学院泌尿器外科学講座)	山師 定 (愛媛県立中央病院)
福澤 重樹 (市立島田市民病院泌尿器科)	幸 英夫 (獨協大学医科大学泌尿器科)
藤澤 正人 (神戸大学大学院医学研究科)	横井 繁明 (岐阜大学医学部附属病院)
藤戸 章 (大阪府済生会吹田病院泌尿器科学)	吉田 一成 (北里大学医学部新世紀医療開発セン ター臓器移植・再生医療学)
古瀬 洋 (浜松医科大学泌尿器科)	吉田 純也 (大原総合病院泌尿器科)
北条 守文 (古賀病院 21)	吉田 正貴 (国立長寿医療研究センター泌尿器科)
星 昭夫 (東海大学医学部外科学系泌尿器科学)	吉田 将士 (よしだ泌尿器科クリニック)
楨山 和秀 (横浜市立大学泌尿器科)	吉村 一宏 (近畿大学医学部泌尿器科)
松井 喜之 (京都大学医学部泌尿器科)	吉村 耕治 (静岡県立総合病院)
松岡 弘文 (福岡大学医学部泌尿器科学)	米山 高弘 (弘前大学医学部附属病院泌尿器科)
	渡辺 竜助 (新潟県済生会三条病院)

2015 年度技術認定 (産科婦人科) 合格者

芥川 秀之 (横浜総合病院)	片岡 宙門 (函館中央病院)
有馬 薫 (医療法人社団高邦会高木病院産婦人科)	瓦林 靖広 (松山赤十字病院)
石井 博樹 (東海大学医学部付属八王子病院産婦人科)	河野 通晴 (諫早総合病院)
伊藤真友子 (藤田保健衛生大学病院医学部産婦人科)	近藤 一成 (NTT 東日本関東病院)
内田亜紀子 (独立行政法人国立病院機構北海道医療センター婦人科)	佐々本尚子 (箕面市立病院産婦人科)
岡本 修平 (名寄市立総合病院産婦人科)	須賀 新 (越谷市立病院産婦人科)
長船 綾子 (医療法人豊田会刈谷豊田総合病院産婦人科)	鈴木 聡 (福島県立医科大学産科婦人科)
郭 翔志 (独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター)	竹中 慎 (昭和大学藤が丘病院)

辰巳 弘（京都府立医科大学産婦人科）
近澤 研郎（自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科）
辻岡 寛（飯塚病院産婦人科）
恒遠 啓示（大阪医科大学付属病院産婦人科）
角田 肇（NTT 東日本関東病院産婦人科）
永井富裕子（越谷市立病院）
中田 俊之（市立旭川病院）
中山健太郎（島根大学医学部付属病院）
野上 侑哉（慶應義塾大学病院産婦人科）

野村 由紀子（昭和大学江東豊洲病院）
橋田 修（大和市立病院産婦人科）
針山 由美（愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院産婦人科）
廣田 泰（東京大学医学部附属病院女性診療科・産科）
古川 直人（奈良県西和医療センター）
堀澤 信（長野赤十字病院産婦人科）
三浦 清徳（長崎大学病院）
村越 誉（愛仁会千船病院）

2015 年度技術認定（産科婦人科）更新者

井坂 恵一（東京医科大学）
井上 裕美（湘南鎌倉総合病院）
太田 博孝（秋田赤十字病院）
片岡 恵子（原三信病院）
佐伯 愛（健保連大阪中央病院婦人科）
末岡 浩（慶応義塾大学医学部産婦人科）
高橋健太郎（滋賀医科大学医学部付属病院女性診療科）

竹内 茂人（済生会松阪総合病院産婦人科）
永石 匡司（日本大学病院）
中林 稔（愛育病院）
藤本 晃久（三楽病院）
御子柴尚郎（済生会横浜市東部病院）
和田 俊朗（宮崎善仁会病院婦人科）
渡辺美千明（社会医療法人菅間記念病院女性診療科・産科）

2015 年度技術認定（整形外科）更新者

稲波 弘彦（岩井整形外科内科病院）
佐々木真一（横浜市立みなと赤十字病院整形外科）
高野 裕一（岩井整形外科内科病院）
出沢 明（帝京大学医学部付属溝口病院整形外科）

蜂谷 裕道（医療法人蜂友会はちや整形外科病院）
牟田 智也（静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）
山縣 正庸（労働者健康福祉機構千葉労災病院整形外科）